

実践記録

学校/学年	中学校 / 2 年	
教科等：単元名	情報安全 （チェーンメール）	
キーワード	チェーンメールへの対処	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d 4：危険を予測し被害を予防するとともに安全に活用する
	中目標項目番号 中目標項目内容	d4-2：トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	チェーンメールの仕組みと問題点を知り、自分が加害者にならないようにする。	
使用教材	教材名	ひと目で分かるネットモラル研修
	製作者	広島教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶN e t モラル」

○ 展開案

	学習活動	指導 評価
導入	どんなメールがチェーンメールなのだろう？ ・転送しないと不幸になると書いてある。 ・たくさんの人に送れと書いてある。 ・終わりのないつながりなるメール。	困ったときのことを思い出させる。 実際のメールの文を見せて課題を明確にする。
展開	アニメーションを視聴する。 ・チェーンメールの問題点をまとめよう。 ・チェーンメールが届いたらどうすればいいのだろう 話し合ってみる	・メールを複数の人に転送することで、多くの人に迷惑がかかることを知る。 ・善意のメールも複数の人に転送を繰り返すことでチェーンメールになることを知る。 ・チェーンメールを受け取った時の対処法を知る。
おわり	チェーンメールの対処法をまとめる ・止める。 ・誰が止めたかは分からないから安心して自分の所でとめていい。 ・それでも不安な人はこちらまで	・チェーンメールの問題点と対処法が分かったか。 情報の中身の真偽を良く考えてメールの目的を見抜く力を継続的につけていく。

○ 授業の成果

- ・多くの生徒は、チェーンメールについて知識を持っており、対処法も知っていたがメールを活用していない生徒にも予防的な学習ができた。今後もメールに限らず学習を継続していくことが必要と感じた。

○ 指導のポイント・留意点

- ・なるべく知っている生徒に発言させるようにした。